

令和7年度 学校評価（12月）結果の【考察】

1 前回の結果（令和7年度7月）より0.3ポイント以上向上したもの

- ・ 教師の自己評価

- 質問1 「教育目標の実現」 (+0.3)
- 質問5 「個に応じた学習指導」 (+0.3)
- 質問14 「差別の解消」 (+0.3)
- 質問16 「いじめの早期対応」 (+0.3)
- 質問17 「あいさつ・言葉遣い」 (+0.4)
- 質問19・20「危機管理」 (+0.3)
- 質問25 「個別指導・支援」 (+0.3)

- ・ 保護者の評価・・・該当項目なし
- ・ 児童の評価・・・該当項目なし

2 前回の結果（令和8年度7月）より0.3ポイント以上下降したもの

- ・ 教師の自己評価

- 質問13 「児童会の運営」 (-0.3)
- 質問24 「読書へのはたらきかけ」 (-0.3)

- ・ 保護者の評価・・・該当項目なし
- ・ 児童の評価・・・該当項目なし

3 全体的な傾向

(1) 教師の自己評価

今回のアンケートでは、0.3ポイント以上向上した項目が7つ見られ、前回の自己評価から意識して取組み、改善している様子が伺えた。2学期は校内外の行事が多く、先生方は多忙を極めていたが、個に応じた指導や個別懇談など、自己評価以上に児童一人一人と向き合い、学級経営や事務処理に取り組んできたと感じている。

○ 質問1「教育目標の実現」は0.3ポイント向上しており、教育計画に掲げる重点目標の推進に努めている様子が伺える。特に【チャレンジする教師】においては、授業改善を図るため研究授業を行い、多くの研修会に参加して資質・能力の向上を図ることができた。

○ 質問5「個に応じた学習指導」は、0.3ポイント向上しており、学校行事等が少なくなった11月からは放課後を利用した学習会を行うことができた。またスクールカウンセラーや南愛媛病院の臨床心理士を招いて全学年を参観していただき、個別の指導方法を学び授業や生活指導に生かすことができた。

○ 質問14・質問16は、ともに0.3ポイント向上しており、早期発見・早期対応に取り組んでいる様子が伺える。積極的に声を掛け児童一人一人の思いを大切にしていることで、いじめにつながる思いが解消されているように感じられる。また人権・同和教育参観日においては、児童の実態に即した授業内容を考えられ実践に結びついていることも大きな要因である。今後、このような取組が保護者へ理解していただけるよう紹介していきたい。

● 質問13「児童会の運営」は0.3ポイント低下している。高学年を中心に運営している代表委員会では生活の改善点が多く出され、それぞれにおいて取組を行っているが十分な成果が上がっているとは言い難い。しかしながら継続することで児童の意識改革もできて

きているので今後に期待したい。

- 質問 24「読書へのはたらきかけ」は 0.3 ポイント低下している。前回の学校評価でも同様に低い評価となっている。2 学期は運動会練習や放課後練習、朝奉仕など読書以外にかける時間が多かったことも挙げられ、後半は読書の時間を確保するように努めてきたが十分とは言えない。今後の課題としていきたい。

(2) 保護者の評価

今回のアンケートでは、±0.3 ポイントの変動は見られず、安定した評価となっている。しかしながら ±0.1 ポイントの変動は多くの項目に見られ、注視していきたい。

- 質問 3-4「家庭学習の習慣化」は、前回同様、評定が 3 以下になっており向上が望まれる。特に家庭での読書の習慣化は難しく、現在の子供たちにとって読書に掛ける時間が乏しく、ゲームや動画、SNS 等に掛ける時間が増加していることが原因に挙げられる。そのため、学校で読書の習慣化を心掛け、朝読書や読書集会、読み聞かせ(よみっこさん)など、児童が少しでも活字にふれる機会をつくっていききたいと考える。
- 質問 2-2「いじめ・不登校対策」(-0.1)は、教師の自己評価に掲げたように学校では様々な取組を行っている。しかしながら個人的な取組を口外することができないため保護者に可視化できていないのが現状であり十分な理解へと繋がっていない。そのためスクールカウンセラーやアドバイザーなど、多くの方が学校に関わっていただいていることを校報やHPを通して広げていきたいと考える。

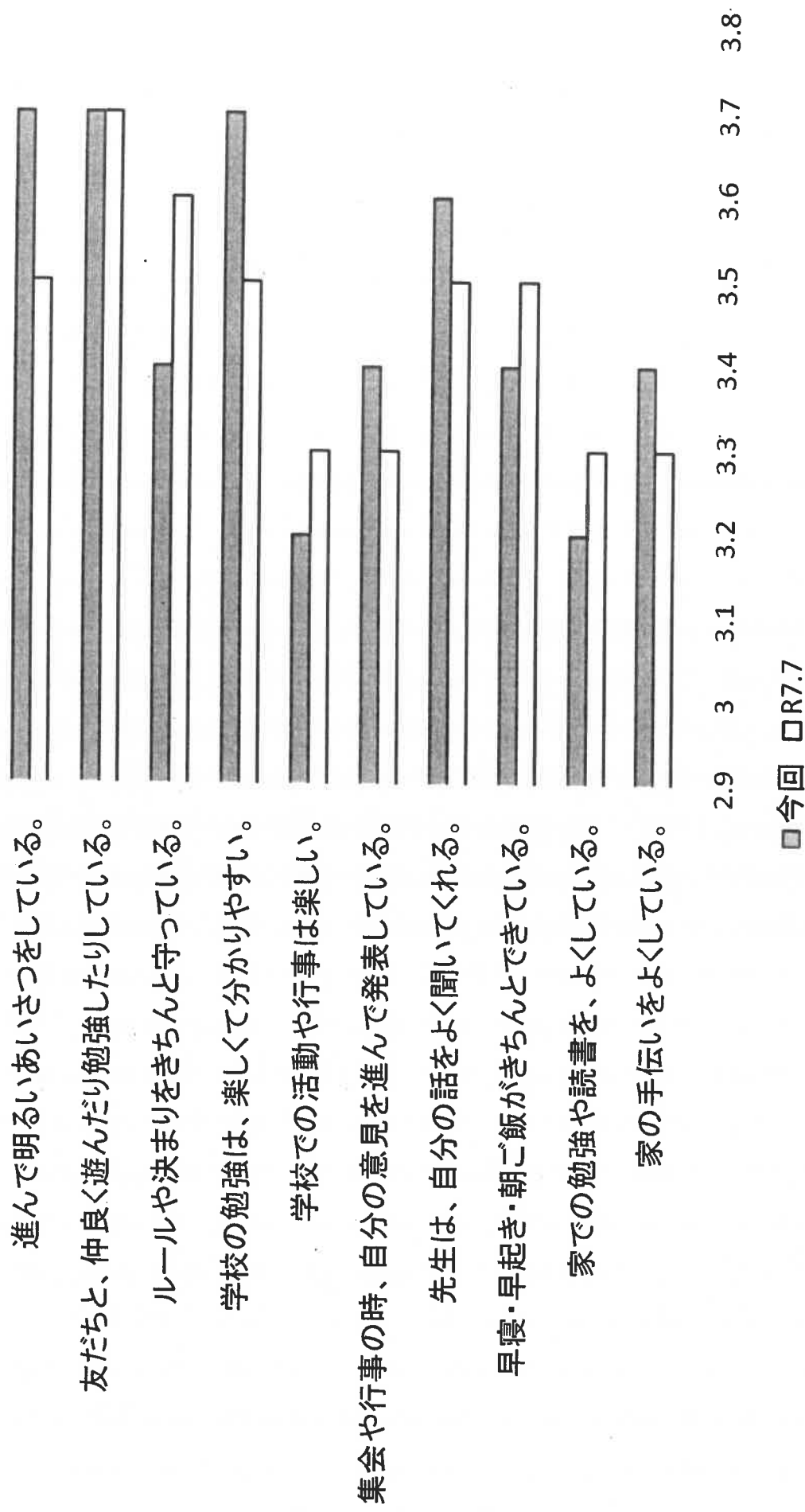
(3) 児童の自己評価

- 10 項目中 5 項目で、3.5 ポイント以上の高評価を得られた。中でも、質問 5「学校での活動や行事は楽しい」は 3.8 ポイントと高くなっており、子供たちが学校生活を楽しんでいる様子が伺える。特に今年度はバス遠足を実施し、縦割り班で動物園を散策するなど異学年での活動を多く取り入れた。また 12 月には日本舞踊の体験活動ができ、様々な人と関りを持った行事が行えたことが大きいと考える。
- 質問 7「先生の傾聴」は、前回から引き続き、子供たち一人一人に対応した生徒指導が功を奏していると感じる。問題行動が起こった場合は、教師一人に対応するのではなく、チームとして対応し早期解決を図ってきた成果だと感じる。
- 質問 3「きまりの遵守」は、0.2 ポイント低下しているが、教室内での過ごし方や廊下の歩き方など改善点を話し合い、全校児童で取り組めるようにしている。校外生活においても、地域の方や見守り隊・青パト隊の方からの情報ももとに、早期に対応できるようにしている。少しずつきまりを意識した生活ができるようになってきた。

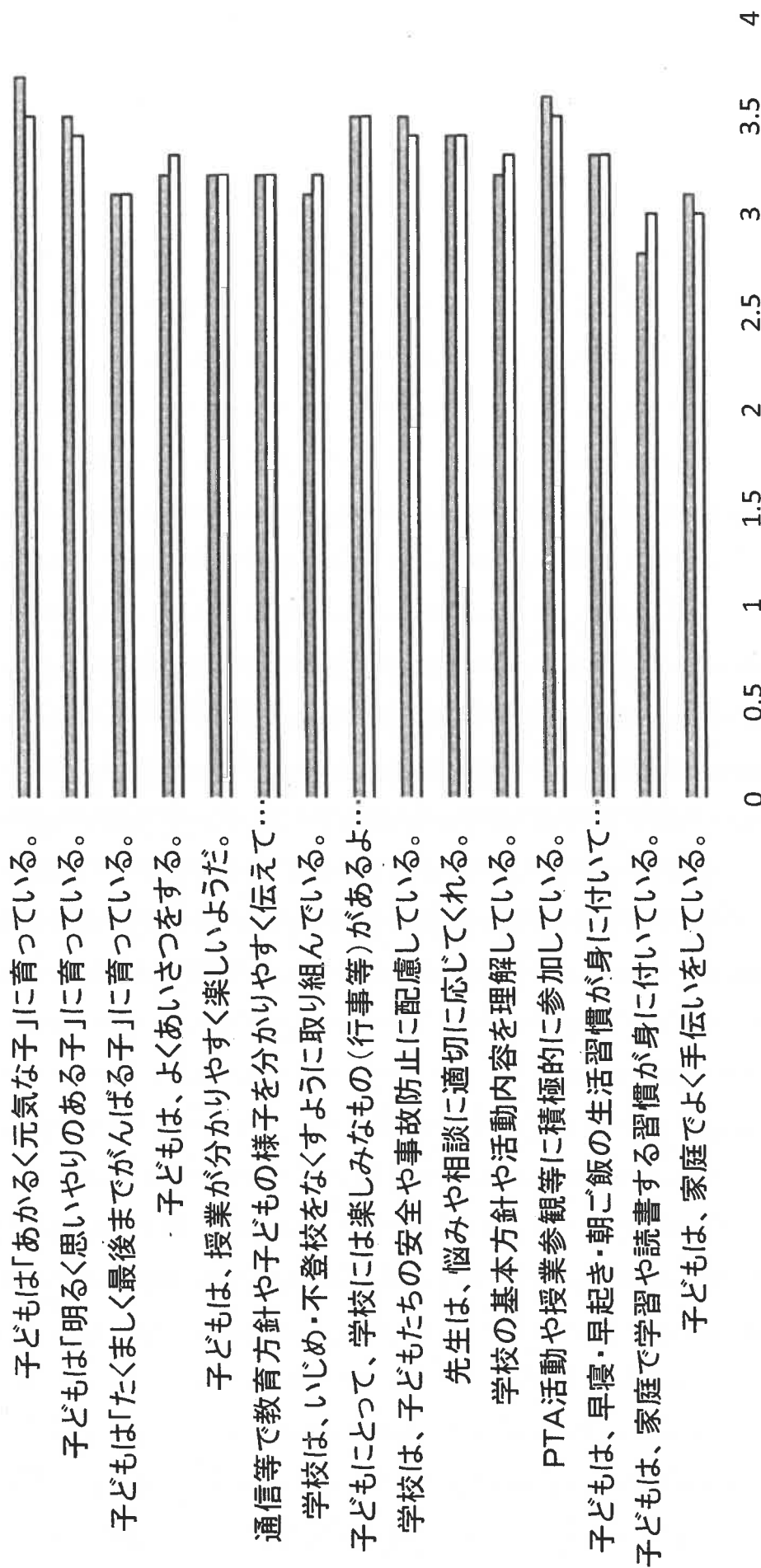
4 今後の指導等

- ・ 児童理解を深めていけるよう、個別懇談の時間確保や教職員の共通理解、特別支援教育の充実など、個を大切にする指導の研修を進めていく。さらに全教職員で情報を共有し、学校全体でサポートしていける体制づくりを行う。
- ・ 学校の取組を保護者や地域の方々に知っていただくため、ホームページや校報、通信等を用いて、学校の「見える化」を図っていく。
- ・ 家庭学習や読書の習慣化を図るため、朝や放課後の時間を利用して個に応じた学習内容や図書の選択を行い、進んで取り組めるように配慮していく。また家庭への啓発を行い、デジタルデトックスを意識した時間を確保して集中できる環境づくりを推進していく。

学校評価まとめ児童アンケート



学校評価まとめ保護者アンケート



■ 今回 □ 前回

学校評価まとめ 教職員アンケート

教育目標を理解し、その実現に向けて努力していますか。

家庭・地域とともに高める学校づくりの実践ができましたか。

学級通信(校報等)で、学校の取り組みを積極的に発信しましたか。

学力の定着向上に向けて、児童が主体的に学び合う授業の創造に努めましたか。

つまずきや個人差への適切な指導をするなど、個に応じた指導ができましたか。

児童に家庭学習の習慣や主体的に学ぶ態度が育つよう配慮していますか。

児童の学びの状況を保護者に分かりやすく伝えていますか。

地域の人材や教育資源を活用するなど、地域の教育力を取り入れた教育活動を推進していますか。

児童は、場に応じたみんなに聞こえる声で発表していますか。

道徳的心情や道徳的実践力を高めることができましたか。

家庭とのつながりを持って道徳の授業に努めていますか。

学級・学校生活での児童の具体的問題を適切に取り上げましたか。

代表委員会で話し合ったことを十分に生かしていますか。

差別をしない・負けない・許さない児童を育てられるよう、機会を捉えて指導に努めていますか。

相互に認め合い、支え合う仲間づくりができましたか。

児童理解に努め、いじめ・不登校、子どもの悩みの早期発見と早期対応ができていますか。

あいさつ・会釈・場に応じた言葉遣いや声の大きさが定着するよう指導に努めましたか。

校内及び通学路の安全点検を計画的に実施し、安全指導の徹底が図られましたか。

危機管理に心を配った指導(勤務)ができましたか。

突然、災害が発生しても生命を守るための行動が、職員・児童ともにとれるか。

早寝・早起き・朝ご飯の生活習慣を身に付ける指導に努めましたか。

望ましい食習慣が身に付き、楽しい給食になっていましたか。

朝読書の時間を充実したものにしましたか。

目標としたページ数に到達できるよう、個々に応じた適切な働きかけができましたか。

個に応じた適切な指導や必要な支援ができましたか。

特別支援教育に対する教職員の共通理解が図られ、協力して支援ができましたか。

公文書等が適切に収受され、活用できるように管理されていますか。

諸届け、報告、承認は、その都度的確にできていますか。

会計処理が適切にされている。

勤務時間を意識した働き方ができていますか。

